



涌小通信

知内町立涌元小学校

〈学校教育目標〉

よく考える子 思いやりのある子 健康な子

重点教育目標「粘り強く学び 最後までやり切る心をもった子供の育成」

令和4年4月27日発行

笑顔と優しさに満ち溢れる涌元小学校をめざして

校長 柳澤 満

社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況が続く中、学校も感染症対策を実施しながら、子供たちの学びの保障と充実に全力で取り組んでおります。保護者の皆様にも、これまで様々な感染症拡大予防の対策に、ご理解とご協力をいただいております。ありがとうございます。

新型コロナウイルスが流行してからのこの2年ほどは、「学校のあり方」や「日常生活のあり方」、大袈裟かもしれませんが「人生のあり方」など、これまでの「あたりまえ」を見直す機会となったのではないのでしょうか。こんなにも「あたりまえが幸せ」だという過去の時間を実感できたことはなかったと思います。

社会や学校が少しずつ回復の兆しを見せている現在、一番、思うことは、とにかく、全ての人が元気になってほしいということです。そして学校が笑顔で思いやりのある空間になってほしいということです。涌元小学校の19名の子供たち、そして、保護者の皆さんの心があたたかい優しさで包まれてほしいということを何よりも願っています。

先日ある雑誌で、「今、必要な考え方」という内容の記事を読みました。そこで、今の世の中へのメッセージとして、次のようなことが書かれていました。印象に残ったことをご紹介させていただきます。

- 「因縁」～自分の行いや罪、生き方が、今の自分の苦しみの元になっていること。自分が苦しめた相手からも因縁をもらっている。自分だけでなく、自分の周囲にいる人にも悪い影響を与え続けていくものである。

例えば、今、よく問題となっているSNS上での誹謗中傷問題についても「因縁」という言葉を使って表現していました。「人を苦しめる」「人を困らせる」「人の批判ばかりする」人というのは、もうすでに自分で因縁を作ってしまったのです。アクシデントやトラブルがよく起こる。また、人間関係がうまくいかない等と不幸が続く因縁の原因を自分でつくっていると述べています。つまり、天に向かって唾を吐くと自分の顔にかかるのと同じことをやっていると感じることが大切なのだそうです。

この記事の著者は最後にこんなことを書いていました。

- 今、幸せな思いを持って生きている人に共通していることは「人の喜ぶ姿が見たい」と思って生きていることです。大切なことは自分が因縁をつくらない人生を歩むことです。

深い言葉でした。世の中が不安で何となく人に攻撃的な雰囲気漂う今だからこそ、「人への優しさ」が何よりも大切になってくるのではないのでしょうか。

まずは私たち大人がもう一度、「他人への優しさ」について考えて行動し、子供に伝えていくことが大切だと思います。

本校教職員も、目の前の子供が見えなくならないように、一番不安を抱えている子供に寄り添い、笑顔と優しさを大事にして、子供たちに接していきます。

私も朝、子供たちの登校の見守りに地域に立っています。そこでたくさんの地域の皆様とお会いします。着任して、私がこの涌元小学校で一番うれしかったことは、保護者や地域の皆さんが優しい眼差しと言葉で子供たちをあたたかく見守ってくれていることです。人の優しさ、あたたかさに囲まれたすばらしい学校と地域です。

これからも一緒に笑顔と優しさに満ち溢れた学校をつくっていきましょう。よろしく願います。